

玉川砧薬剤師会の取組事例

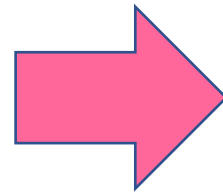
一般社団法人玉川砧薬剤師会
副会長 小林百代

2023.3.20 第2回世田谷区高齢者福祉・介護保険部会



これからの薬局の定義

調剤を行う場所



2020年9月
改正薬機法施行

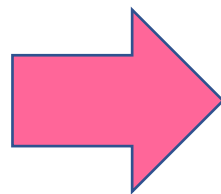
調剤の業務並びに
薬剤及び医薬品の適正な
使用に必要な情報の提供
及び薬学的知見に基づく
指導の業務を行う場所



これからの薬剤師の業務

薬中心の業務（対物業務）

- ・ 処方せん受取・保管
- ・ 調製(秤量、混合、分割)
- ・ 薬袋の作成
- ・ 薬剤監査・交付
- ・ 在庫管理



「物から人へ」

患者中心の業務（対人業務）

- ・ 処方内容チェック
(重複投薬、飲み合わせ)
- ・ 医師への疑義照会
- ・ 丁寧な服薬指導
- ・ 在宅訪問での薬学管理
- ・ 副作用・服薬状況の
フィードバック
- ・ 処方提案
- ・ 残薬解消
- ・ 他職種への情報提供・連携



玉川砧薬剤師会



- ▶ 玉川地域、砧地域、烏山地域にまたがる薬剤師会
- ▶ 会員数：167名（2023年2月末現在）



★会員がいる薬局を、
あんしんすこやかセンターの
区割りに従って、班分け

★地区連携医の制度に倣って、
地区ごとに担当薬剤師を配置

玉川地域

- もともと医師会、歯科医師会、薬剤師会の連携が構築されていた地域
- 三師会とあんしんすこやかセンターの管理者が「玉川地域つながる会」を組織し、定期的に会議や研修会を実施
- あんしんすこやかセンターによる多職種連絡会の案内が薬剤師会に届くため、薬局薬剤師の参加も増えており、薬剤師の業務についてプレゼンする機会もいただいている

玉川地区医療連携協力施設

玉川医師会

玉川歯科医師会

玉川薬剤師会

玉川地域つながる会 から お薬手帳用連絡カード

あんしんすこやかセンターの管理者から

「お薬手帳の認識や保有率が高いので、手帳を見て

その患者の担当者が分かればお互いに連携につながる」

との意見があり、薬剤師会が担当者一覧のシールを作成した

あなたを支える医療・介護のケアチーム

あなたを支える 医療・介護のケアチーム

かかっている医療機関や利用している介護サービス等の情報をまとめておくことで、あなたに必要なケアをどこが提供しているかすぐに分かり、適切な医療や介護につながりやすくなります。日ごろ利用している医療・介護の情報や、あなたが信頼している方の連絡先を記入しておくとう便利です。

ご本人同意欄(にチェック を入れてください。)

このカードの利用方法について説明を受けました。必要な場合は、ここに記載されている情報を、医療・介護等関係者間で共有することに同意します。

■薬局

名称			
電話番号		担当者名	
備考			

■あんしんすこやかセンター(地域包括支援センター)

名称	あんしんすこやかセンター		
電話番号		担当者名	
備考			

■ケアマネジャー

名称			
電話番号		担当者名	
備考			

※ご本人欄は未記入でもかまいません。

ふりがな	ご本人欄		
ご本人氏名		生年月日	
要介護認定	無・有 要支援 1・2 要介護 1・2・3・4・5	障害者手帳	無・有
これまでに かかった 主な病気			
服薬中の おくすり			

■その他(家族、友人、福祉関係等)

お名前		ご関係
電話番号		
備考		

お名前		ご関係
電話番号		
備考		

お名前		ご関係
電話番号		
備考		

薬局ではこんな活用をしています

- 新規で**お薬手帳**を作成した患者さんに**手帳カバー**と**連絡カード**の**3点セット**で渡す
- 居宅訪問時にお薬手帳に挟む
- 訪問介護や訪問診療が始まったばかりの患者さんや家族に渡す
- 患者さん本人ではなく、ヘルパーさんが処方せんを持って薬局に薬を取りに来られるなど、患者さんと直接コンタクトを取りづらいケースで活用してもらおう

第12回 砧地域ご近所フォーラム2023

K Y P

きぬた夢プロジェクト

～夢を語り合う・・・夢をかなえるには、どんな“まち”であればいい？～

砧地域に暮らすひとりひとりと、高齢者・障害者・子ども・若者だれもが互いのつながりを強め、
祖師谷・成城・船橋・喜多見・砧の5地区がひとつとなり力を高めていくそんなフォーラムを目指します。



開催：2023年 3月18日（土）




時間：13：00～15：30
（開場 12：30）

場所：成城ホール（成城6-2-1）

入場無料 ※定員100名 要予約



☆当日は録画を行い、後日YouTube「ご近所フォーラムチャンネルch」に配信予定です。ご参加者様は予めご了承ください。

<p>team 希望の木</p> 	<p>「認知症になっても、自分らしく希望をもって暮し続けるためのヒント」 認知症になっても、砧地域に暮らし続けている方とご家族、ケアマネジャーへのインタビューを通し、「どんな“まち”なら、希望をもって暮していけるのか？」を皆様と共に語り合しましょう。</p>
<p>team こどもまんなか</p> 	<p>「砧地域に新たに「プレーパーク」ができます。」 そこは子どもたちが自然と一緒に自由に遊べる空間。 でも子どもたちだけではなく世代を超えた交流が生まれる場になってほしい。 そのためのアイデアを一緒に考えませんか？</p>
<p>team とともに生きる</p> 	<p>「安心して最期まで、住み慣れた地域で暮らし続けるために」 遅くは通れない、大切な方とお別れ... 大切な方を亡くされた方の話を伺い、ご本人、ご家族、地域はどうあるべきか、安心して最期まで、住み慣れた地域で暮らし続けるために... 「より良く生きること」について、皆さんと一緒に考えたいと思います。</p>

砧地域

- 砧地域ご近所フォーラムに積極的に参画し、「ご近所カフェ」を開設するなど、多職種連携を構築してきた
- 医療・介護職だけでなく、社協、自治会、商店街、学校、民生委員など繋がっている職種は多岐に渡る

災害時の多職種連携②

平時から災害時の薬剤管理を具体的に考えてみよう

烏山地域

- 介護施設が多い地域の中に在宅専門のクリニックが増加し、そのクリニックの医師が中心となって多職種連携が構築されてきた中で、よりお互いの本音をぶつけ合えるよう薬剤師会が「烏山座談会」を企画・実施

前回の座談会の内容を検討し、世話人でツールを作成してみました。
このツールを実際に見て触っていただきたく久しぶりにリアル開催を企画しました。災害に負けない日常の薬剤管理について検討していきたいと思っています。



日時 2023年3月23日(木) 19時00分~20時30分

場所 デイサービスセンター悠ゆう 世田谷区南烏山4-28-3 大松ビル1階

前回参加されていない方ももちろん参加できます！

・ 前回のおさらいとツール作成の経緯

・ 平時からできる薬剤管理；グループワーク

申し込み FAX メディカル・ハンプ訪問看護ステーション 03(3326)8430

2枚日の申し込み用紙ご利用ください

申し込み締め切り 3月13日(月)



今後取組みたいこと

- 地域ごとに連携の仕方が異なっている



各地域での利点を他の地域で生かした連携構築を目指す

- データヘルス改革、医療DXをどうやって高齢福祉・介護の分野でも進めるか？
- 処方箋受付の時だけでなく、それ以外の時でも対人業務の充実を目指す
 - 在宅医療・多職種連携 : チームアクセス
 - 災害対策・公衆衛生 : ソーシャルアクセス